

本吉跨道橋 津谷中学校 1 年生 職場体験

【みんなで鉄の橋について学んでみよう!!】

平成30年10月11日（木）

～10月12日（金）2日間

宮城県気仙沼市本吉町の本吉跨道橋現場にて、気仙沼市立津谷中学校1年生に職場体験を実施しました。1年生男女約60名、地域のいくつかある職場の中、当社の職場体験を男子9名が応募してくれました。



写真1 職場体験募集リーフレット

座学・現場体験・工作・実験と二日間が記憶に残る日になってもらえるよう、工場・工事・営業が一体となり、カリキュラムを模索して準備しました。



写真2 作業着に着替えてラジオ体操

一日目は現場事務所にて座学からスタート。工場製作ならびに CIM など最新技術について学びました。



写真3 CIM 座学

座学では聴講するだけではなく、スマホを使用して AR 技術を体験。また、グルーガンを用いて、ペーパークラフトにて鉄桁と箱桁の橋梁模型を制作。楽しく土木体験してもらいました。



写真4 スマホでAR体験

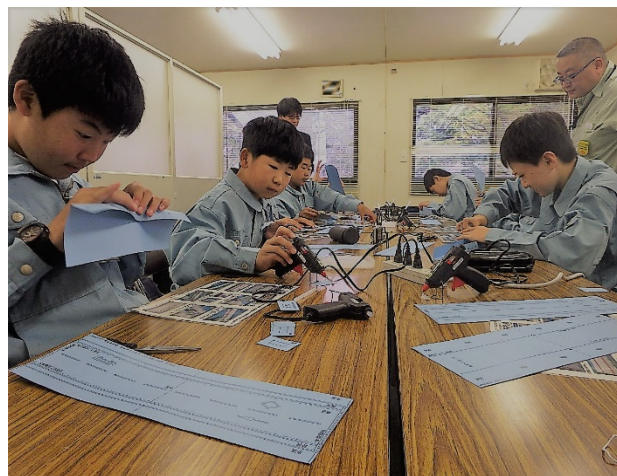


写真5 橋梁模型ペーパークラフト



写真 6 送り出し架設座学

午後からは現場に出て、ハーネスを着用。
送り出し設備の現場見学ならびに橋の計測体験、塗装膜厚の計測体験をしました。



写真 7 現場見学



写真 8 橋の計測体験



写真 9 塗装膜厚の計測体験

二日目も朝から現場でボルト・クランプ締付体験。記念に防錆ボルトを持って帰りました。



写真 10 ボルトキャリブレーション試験



写真 11 カジまん大会

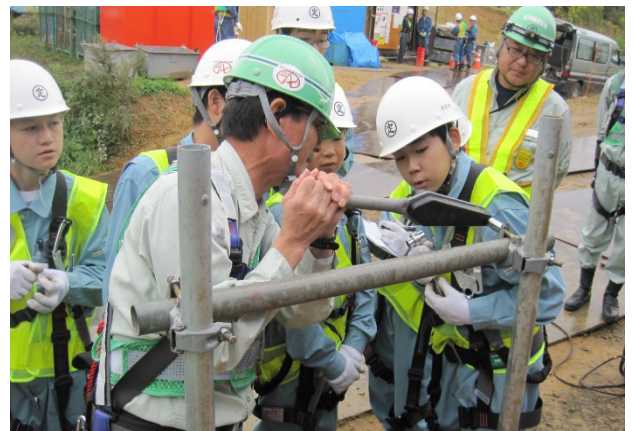


写真 12 クランプ締付体験



写真 13 現場記念撮影

二日目午後からは、前日に制作した橋梁模型の
載荷試験を行いました。

誰の橋が1番重さに耐えられるのか？

1番の人に橋のパズルプレゼント!!

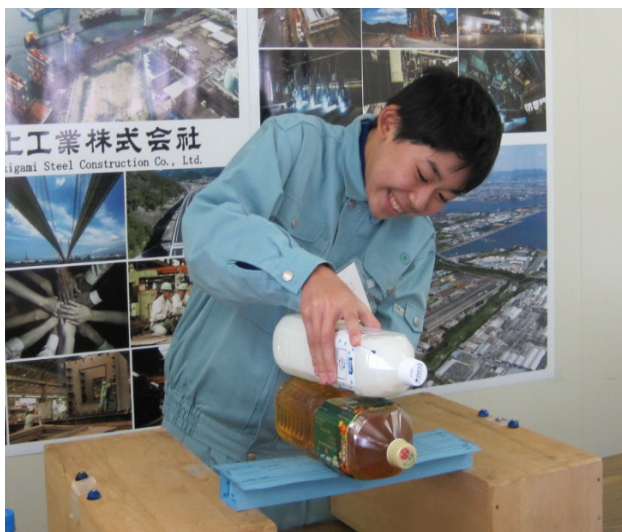


写真14 橋梁模型載荷試験

工事部の定例会議に web 会議で参加。質疑応答
を本社の工事本部としました。



写真15 web 会議

休憩時にはハイブリッジカードで橋のカルタ
大会。大興奮の中、社員も負けじと参戦しました。



写真16 橋のカルタ大会

津谷中学校の校章を工場製作しました。職場体
験の思い出に学校へ寄贈します。



写真17 校章と記念撮影

今回の職場体験を通して、二日間楽しく鉄の橋
について学んでももらいました。

最初は緊張気味でしたが次第に元気いっぱい
になり、座学や現場体験に真剣に取り組む姿は、
当社スタッフも多く学びがありました。

本橋が開通し、大人になってからも鋼橋につい
て学んだ思い出と、未来の担い手育成に職場体験
が少しでも役に立てたなら幸いです。

今回の本吉響高校 横断幕の制作・お披露目式
ならびに津谷中学校 職場体験では、気仙沼市
本吉総合支所、三陸新報社、建設新聞社より取材
を受け、掲載いただきます。

工事名 : 本吉跨道橋上部工工事
工事場所 : 宮城県気仙沼市本吉町津谷長根地内
工 期 : 自) 平成29年11月21日
至) 平成31年 2月28日
諸 元 : 鋼2径間連続非合成鈹桁
橋長 $L = 102\text{ m}$
送出し架設工法
発注者名 : 国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所
受注者 : 瀧上工業株式会社 仙台営業所

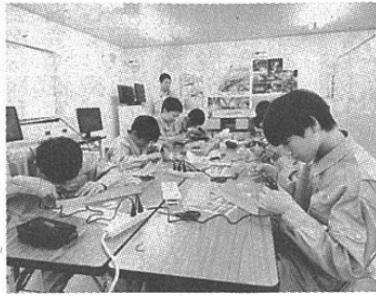
建設新聞(平成30年10月17日)

は、気候
水害、土
ま、温
な削減に
治体・事

導入、I
用などを
事務所の
割程度
などのサ
ている。
て若手職
現場では
が多かつ
れるのは
一と評判
週6日分
わらせな
で、限ら
うに効率
えるよう
改革にも
作業員は
に休みが
一方、子
中には手
懸念を示
の検討課

の適応計画を改正する。具
体的には、首都圏・近畿圏
のゼロメートル地帯で進め
ている高規格堤防整備事業
を追加。全国の国道事務所
に自転車配備し、危機管

模型製作に挑む生徒ら



この企画は、生徒らの思
い出づくりと未来の担い手
育成を目的に、施工現場近
隣の高校生や中学生に身近
な公共事業に触れてもらお
うと実施。津谷中学校1年
生9人を受け入れた。
11日は、同社鉄構生産本
部管理グループの西幸二課
長が座学での講師を務め、
会社概要や工場での橋の部

瀧上工業(愛知県半田市
瀧上品義代表取締役社長)
は11日から12日の2日間、
気仙沼市立津谷中学校の職
場体験を、宮城県気仙沼市
で施工している本吉跨道橋
上部工工事の現場で受け入
れた。生徒たちは工事の様
子を見学したほか、同工事
事務所での橋梁模型の製作な
どに挑戦し、橋梁工事の知
識を深めた。

瀧上工業 津谷中学校の生徒が 橋梁工事を体験 本吉響高校生徒も現場を訪問



本吉響高校の生徒と橋桁に掛けた横断幕

材製作について説明した。
西課長は、CIMやARに
関する自社の取り組みに触
れ、「国が推進している最
新技術を積極的に導入して
いる」と紹介。CGで作成
した橋を実際の写真に合成
した画像などを見せると、
生徒たちは驚いた様子で見
入っていた。

また、グルーガンを溶接
に見立てて、画用紙で作る
橋梁模型製作に挑戦。箱桁
やI桁の模型を作成し、12
日にはペットボトルを乗せ
る強度実験を行い、橋の構
造を楽しみながら学んだ。
このほか現場見学に加え
て、朝のラジオ体操やミー
ティングにも参加。実際の
工事現場の様子を肌で感じ
ていた。

さらに同現場では、10日
に宮城県本吉響高校の生徒
も受け入れた。同校の美術
部は、気仙沼の風景を描い
たモザイク画の横断幕を制
作し、9月12日に現場に引
き渡していた。10日は橋桁
に掛けた横断幕を美術部生
徒らに披露。また、同社から
横断幕のお礼として、製作
した校章を学校に寄贈した。
本吉跨道橋は、三陸沿岸
道路・本吉気仙沼道路(本
吉IC(仮)〜大谷海岸IC
)の一部として、気仙沼
市本吉町津谷長根地内に架
橋する。国道45号をはじめ、

橋建協

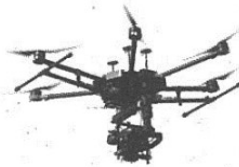
11月16日、仙台で

橋梁技術発表会・講演会

日本橋梁建設協会(坂本
真会長)は、2018年度

河川などを跨ぐため、施工
に当たっては送り出し架設
を採用。工期は2019年
2月28日までとなっている。

橋11仙の究的を計大食



ドローン操縦士・安全運航管理者養成スクール

アカデミー 東北
(株式会社 スリーアイバード)



一般社団法人 日本UAS産業振興協議会(JUIDA)認定/国土交通省航空局:「無人航空機の講習団体」認定
産官連携ICT東北推進協議会特別会員